

2019年2月13日

平成30年度草の根・人間の安全保障無償資金協力（セントビンセント及びグレナディーン諸島）  
「聖母マリア・ローマカトリック小学校校舎改修計画」に関する署名式

2019年2月13日、セントビンセント及びグレナディーン諸島、セントビンセント、キングスタウンにて、平成30年度草の根・人間安全保障無償資金協力「聖母マリア・ローマカトリック小学校校舎改修計画」の署名式が行われました。被供与団体である聖母マリア・ローマカトリック小学校は、日本政府の供与額32,047米ドルの無償資金を利用し、小学校校舎の改修を実施します。

本式典には、セントビンセント及びグレナディーン諸島日本国大使館（在トリニダード・トバゴ日本国大使館が兼轄）の平山達夫大使及びジェラード・カウンティ司教、教育・国民和解・宗教・情報省イベット・アントニー書記官、外務・貿易・商業省サンデー・フィリップ書記官、聖母マリア・ローマカトリック小学校エウラ・レジャー校長、並びに他の招待客、関係者の出席の下、実施されました。

平山達夫大使は、挨拶の中で、教育は次世代を担う若者を育てる最も重要な分野であり、本案件における無償資金協力は将来への投資であると述べました。また、共通課題である気候変動、地域の平和と安定の維持、民主主義の重要性、自由の尊重に関わる問題の解決の上での両国の協力における重要性についても述べました。その後、聖母マリア・ローマカトリック小学校エウラ・ジョニー校長は、本案件の実現までの過程におけるセントビンセント及びグレナディーン諸島日本国大使館の協力と共に日本政府への貢献に感謝の意を表明しました。

日本国政府は、今後とも両国の友好関係と相互理解を深めていくため、様々な分野でセントビンセント及びグレナディーン諸島に対する支援を実施していく考えです。

（了）



左-右 エウラ・ジョニー校長, ジェラード・カウンティ司教,  
平山達夫大使, 平山達夫大使夫人



外務・貿易・商業省サンデー・フィリップ氏と平山達夫大使  
が握手を交わす様子



平山達夫大使による演説



署名後に握手を交わす様子



左-右 ジェラード・カウンティ司教, エウラ・ジョニー校長、平山達夫大使、  
セントマリー小学校の生徒

*For further information, please contact:*  
Economic Affairs and Development Cooperation Section  
Embassy of Japan in Trinidad and Tobago  
Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 219/234  
E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp